

ボルネオ小旅行

4/20, 成田を発ち, 5/20, 成田に戻ってきました. 私 (66歳) と家内 (60歳) の二人旅です. 宿泊先や航空券の予約は, 殆ど e メール, 電話, FAX で出発前に済ませました. 旅程の作成に当たって, キナバル ハイランド クラブのロングステイ ガイド ブックを大いに活用させていただきました. お陰様で充実したひと月を過ごすことができました. 今回のボルネオ旅行は, 大きく4つのステージに分けることができます.

第1ステージ キナバル山登山

第2ステージ コタキナバル(KK)でのアパート暮らし(連休を子供, 孫と共同生活)

第3ステージ グヌムル国立公園におけるジャングル ウォーク

第4ステージ ゴルフ行脚

第 1 ステージ(4/20~4/27)

4/20 マレーシア航空直行便でコタキナバルに到着. ゴルフバックは荷重に加算しないというマレーシア航空の恩恵のお陰で, 荷物を 20kg 以下に抑えることができました. Promenade Hotel の Promenade Superior room に泊まりました. 同ホテルは, 10,11,12F を Promenade Flore と称しており, 通常フロアよりも料金が安い(RM240/泊/部屋)けど, いくつかの特典が付いています. 朝食, 午後ティー, サンセット カクテルなどが特典の一部で, チェック インも込み合ったフロントではなく, 11F でスピーディーに済ませることができます. 註:RM(リンギット)=¥31

4/21, 22 は, KK の街を散策しながら, 同地で生活するために必要な情報収集を行いました. サバ通りの北側にあるサバ観光公社で KK とキナバル公園間のシャトル サービスをしている Suniland Travel & Tours という会社(電話:088 702 188/198 FAX:088 702 199 E-mail : [enquiries@sunilandtravel.com.my](mailto:enquiries@sunilandtravel.com.my))があることを知り, キナバル公園への送迎を依頼しました. 私達は, キナバル公園の Hill Lodge で前泊後, 登山をし, 頂上までの途中にある Laban Rata Resthouse に泊まり, 頂上を目指して, 下山時にも Laban Rata Resthouse に泊まり, Mesilau へ下り, Poring 温泉の Serindit Hostel で後泊することにしていました. 従って, KK からキナバル公園管理本部までの費用(RM40/人), Mesilau から Poring 温泉までの費用(RM70/人), Poring 温泉から KK までの費用(RM55/人)を交通費用として支払いました. 車は, ミニバスと同種であり, 4/23, AM7:15 センター ポイントで私達をピックアップした後, さらに一人を拾い, キナバル公園に向かいました. キナバル公園内の宿泊設備は, Sutura Sanctuary Lodges のウェブ サイト (<http://www.suterasanctuarylodges.com.my/>) で予約することができます. 山小屋の収容能力に限界があるので, 個人で予約する場合, 早めに行く必要があります. 私の場合, 1/25 に 4/24, 25 の Laban Rata Resthouse がやっと予約できました. すばらしいガイドに恵まれたお陰で, 無事, 登頂することができました. 下山道に選んだ Mesilau コースは, 起伏に富んだやや厳しいコースですが, 熱帯雨林の中を楽しく歩くことができますのでお勧めします. Mesilau に下山して, 登山証明書を貰おうとしたところ, 証明書は, キナバル公園管理本部でしか発行しないということが分かりました. 迎えに来た運転手に事情を話して, 一旦, 公園管理本部に逆戻りしてから, Poring 温泉に行

ってもらうことにしました。Poring 温泉では、キャンपीー ウォークなどをして楽しみました。横になっていた私を同室のチェコの青年が、起こしに来ました。興奮している彼に付いていくと、ドミトリーの共有スペースの梁の上にとっても大きなカブトムシがおり、それを私たちに見せたかったようです。大きな昆虫をよく見かけました。翌 4/27 迎えの車に乗り KK に戻り、子供や孫を出迎えるため空港に向かいました。空いていれば 15 分程度で空港に着くのに夕方の交通渋滞にぶつかったため小一時間を要しました。

## 第 2 ステージ(4/28～5/5)

Marina Court Resort Condominium を RM308/泊で借りました。その他にサービス料 10%、税金 5%を要します。ベッドルーム×3、トイレ/シャワー ルーム×2、台所、居間からなる実に清潔なアパートです。台所には、冷蔵庫やガスレンジ、電気ポットが設置されており、ナイフ、フォーク、スプーン、大小の皿なども配備されております。掃除とベッド メーキングは毎日行ってくれますし、タオル類も毎日新しいものに交換してくれますので、3 家族で快適に過ごすことができました。洗濯用の設備はありませんが、ランドリー サービスを利用することができます。プールやジムおよび幼児用の遊び場も備わっております。

Tunku Abdul Rahman 公園の一部である Mamutik 島と Sapi 島に海水浴にでかけました。Promenade Hotel のグランド フロアーに Msenang Tours & Travel という旅行会社の出店があります。そこで申し込むと島に渡るモーターボートの時間に間に合うよう車で迎えに来てくれます。料金は、大人 RM40、子供 RM20 で、その他に、島への上陸許可料 RM10/人が必要になります。モーターボートは、Tanjung Arul Beach から出ており、30 分足らずで島に渡ることができます。何れの島も豊かな自然がそのまま保存されているように感じました。水は、澄みきっており、沢山の熱帯魚が泳いでいる姿を観察することができます。食べ物、飲み物も現地で調達することができます。天候が怪しくなってきたので、予定より早いボートで Tanjung Arul に戻ったにもかかわらず迎えの車が待機していました。

朝食は、自炊にし、昼食、夕食は外食にしました。ウオーターフロントにある「不夜天海鮮桜」や Promenade Hotel の隣にある「海王城」のシーフードは美味しかった。特にソフト シェル クラブは全員気に入ったようです。また、ウオーターフロントにあるイタリア料理の店「Toscani's Wine & Dine (電話 088-242879)」のシーフード料理も美味しかった。昼食は、麺類をよく食べました。どの店も味はまずまずでした。Pantai 通り南側にある「天天餐室(電話 088-251805)」は、比較的きれいな店で、スープ麺が美味しくて安いので時々利用しました。

Central Market や Filipino Market でいろいろな南国の果物が販売されています。Gaya 通りを北に向かって歩き、日本食材を置いているスーパーマーケット Tong Hing を少し通り過ぎたところに Haji Ibrahim Dan Anak Anak という果物屋があります。そこで熱帯の珍しい果物についていろいろ教えていただきました。

市内の所々やモールの中にトイレがあり、何れも有料(20 セント)です。トイレにしても国立公園にしても、それを利用する人は費用を支払わなければならないということになっており、とても理に適っ

た考え方だと思います。

### 第3ステージ(5/6~5/10)

子供や孫達が帰国した翌 5/6 に KK から Mule に向かいました。目的は、Gunung Mule National Park の中を散策するためです。同国立公園は、キナバル公園と同じく世界自然遺産として登録されています。Mule は、Sarawak 州に属し、Sabah 州の KK から行くときには同一国内であっても出国手続きを要します。KK からプロペラ機で約 50 分のフライトでした。Mule の空港には、滞在先である Royal Mule Resort (<http://www.royalmuleresort.com/>) の車が迎えに来ておりました。このリゾート ホテルは、ジャングルの一角を切り開いて作られたものです。地面から 5m 位の高さの木で作られた回廊が広大な敷地の中に張り巡らされており、ホテルの部屋やレストラン、フロント、プールなどは、この回廊で結ばれております。3 泊して 3 食とも同ホテルでとると 4 泊目が無料になるという、Rumble in the Jungle と称すサービスがあり、それを利用しました。従って、部屋代として RM160×3 日、食事代として RM78×4 日×2 人を支払いました。

ここでは、ジャングルや山を対象にしたいろいろなアクティビティが用意されております。私たちは、4 つの洞窟を散策するトレッキングに参加しました。1 日目の午後、Lang's Cave と Deer Cave を、2 日目の午前、Wind Cave と Clearwater Cave に行き、公園入場料やガイド料、昼食込みで RM170/人でした。Lang's Cave は、見事な鍾乳石がたくさんありました。Deer Cave では、夕方 300 万羽といわれる蝙蝠が餌を求めてジャングルに飛び立つさまを見ました。Lang's Cave と Deer Cave を訪れるには、ジャングルの中に作られた木道を一時間以上歩く必要があり、ジャングルトレッキングの気分に入ることができます。Wind Cave と Clearwater Cave には、ボートで行きます。Clearwater Cave は、水が澄んでおり、泳ぐこともできました。

リバー クルーズ (RM105/人) にも参加しました。細長いモーターボートに私たち夫婦とガイドさん、および船の操縦者が乗り、ジャングルの中の川を遡って行き、途中祖先が首狩族だった人達が住むロングハウスなどに立ち寄りました。

往路は、KK への直行便が飛んでない日ゆえ、Miri を経由して KK に戻りました。Mule から Miri に向かう飛行機はとても小さく、荷物だけでなく体重まで計測されました。

### 第4ステージ(5/11~5/19)

5/10、Mulu から KK に戻り、Promenade Hotel で一泊しました。今回の旅行は、多目的であり荷物が増えがちでしたが、ステージごとの目的が明確であり、そのステージにとって不要な荷物は、そのつど、Promenade Hotel で保管していただきました。

5/11、リュックにゴルフウェア、靴、着替えなどを詰め、ハーフセットを持って、長距離バスセンターに向かいました。8 時の Keningau 行きバスが出た直後で次は 10 時でしたので、丁度居合わせた乗り合いタクシーに料金を尋ねてみました。RM25/人ということゆえ、先客 2 人と Keningau まで相乗りし、Perkasa Hotel で降ろしてもらいました。日本人に同ホテルを紹介することを条件に、朝

食付き RM90／泊／部屋で 2 泊しました。RM90／泊は、一週間以上滞在するときの料金だそうです。ホテルから街まで 1.5km 位離れており、一寸した買い物などには不便ですが、頼めば車で送迎してくれます。スチーム ボートを食べさせる店をフロントで尋ねたら、「人人少食飯店－People restaurant」まで送迎してくれました。新しくできた街の一角の静かなところにありました。白菜、青梗菜、豆腐、蒲鉾、海老、鰻、卵、ビーフン、ミーなどをダシの利いたスープで煮込んで食べる鍋料理です。美味しいけど実に具沢山で二人で食べることができませんでした。ビール 2 本、スチームボート 2 人前の料金は、52RM でした。

Keningau Golf Course は、評判通りの本格的な 18 ホールのコースです。池やクリークが要所要所に配置されており、ボールをたくさんなくしてしまいました。Perkasa Hotel は、ゴルフ場へも無料で送迎してくれました。

5/13, AM9:00 のバスに合わせて東馬交通のバス停までホテルの車で送ってもらいました。しかし、その日は、9:00 は運休で、次のバスは 10:00 ということでした。仕方なく、Tambunan Village Resort Centre (TVRC) までタクシーで移動しました。タクシー代は、RM30 でした。TVRC には、エアコン／シャワー付きの部屋に朝食込み RM90／泊で 3 泊しました。TVRC は、Tambunan の郊外にあるので、何処かに行くときには、ホテルが提供する移動手段を利用する必要があります。Tambunan の中心地への送迎が RM5、ゴルフ場の送迎が RM10、Rafflesia Centre の送迎が RM50 でした。KHC の連絡拠点にふさわしく日本語の文庫本が、たくさんありましたので、読み終えた本を置いてきました。

部屋に電話機がないのは不便で、何かホテルに依頼事項があるときには、いちいち吊橋を渡ってフロントに行かなければなりません。従業員は、皆、一所懸命で、頼めばすぐに対応してくれますが、部屋の掃除やタオルの交換がなされない、トイレト ペーパーが補給されない、電球が不具合であるなど、ハウスキーピングに係るサービスが行き届いていないようです。TVRC で作っている黄酒という米から作ったお酒は結構いけました。冷やして飲みたかったのですが、冷蔵庫がなかったので、Kudat のホテルで冷やして飲みました。

Tambunan Golf Club は、日本の河川敷のコースとよく似ています。9 ホールですが、変化に富んでおり、練習コースとして手頃だと思います。数週間前に登ったキナバル山を望みながら 2 回プレイしました。

車で 30 分位 KK の方向に行ったところに Rafflesia Centre があります。国営で土曜日は 11:00 まで、日曜日はお休みだそうです。名前から温室のような施設の中でラフレシアが保護され育成されているところと勝手に思い込み、短パンとサンダルで出かけました。ところが保護センタは、クロッカー山脈公園のジャングルの中に作られており、じめじめとした険しい斜面を約 1 時間下ったところにラフレシアを見るポイントがありました。途中、蛭の歓迎を受けます。ガイドの同行が必須であり、ガイド料は RM30 でした。センタを訪れる前に開花しているか否か確認して行く必要があります。ラフレシアは、蕾が約 1 年かかって開き、約 1 週間で枯れるそうです。私たちは、こぼりながら開花直後の花を見ることができました。

5/16, Tambunan から KK を経由して Kudat に向かいました。前日、フロントに依頼した通りに AM8:00 過ぎに先客 2 人を乗せて KK に向かう乗り合いタクシーが来ました。Kudat 行のバスが出る Inanam で降ろしてもらいました。KK までの料金は 2 人で RM50 でした。AM10:00 過ぎに到着し、次のバスが PM1:00 ということでした。タクシーに Kudat までの料金を聞くとチャーターするならば RM100 で行くということでした。一人分を RM25 として 4 人分必要ゆえ妥当な金額だと思います。別の男 John が RM75 で行くといったので、その話に乗ってしまいました。車は軽自動車であり、これで Kudat までいけるのかと怪しんでいると、ガソリン スタンドに寄り、ガスを入れたいので RM30 前払いしてくれ、ということでした。ほんの僅かだけガソリンを入れて KK の中心地に向かい始めました。方向が違くと抗議すると KK にいる兄に会ってから Kudat に行くということでした。走行中、私たちの気を引くため、さかんに話しかけます。何と、兄は乗り合いタクシーをやっており、我々は兄の車に乗り換えることになりました。そこで 2 人分 RM45 を徴収されました。最初から乗り合いタクシーを選択すれば、RM45 で済んだ筈ゆえ、John に RM30 をまんまとせしめられたことに気がきました。RM50 札で支払ったので RM5 のお釣りがきました。John は、それを飲み物代としてくれ、と要求しました。当然無視しましたが、何ともこさかしい奴がいるものです。今回の旅行で犯した唯一かつ最大の失敗です。大人 7 人、子供 2 人、幼児 2 人が乗った乗り合いタクシーは、途中パンクをしましたが、無事 Kudat に着きました。ローカルの人々との乗り合わせゆえ彼らの生活の一端を垣間見ることができました。

Kudat Golf & Marina Resort に 3 泊しました。部屋代は、朝食付きで RM230/泊でした。同じ価格で海が見える RM260 の部屋にランク アップしてくれました。

ホテルの隣にある Kelab Golf Kudat で 2 回プレイをしました。グリーン フィーが RM63、保険料が RM10、電動バギー代 RM52.5 でした。フロント 9 とバック 9 で趣きが異なる変化に富んだ難しいコースだと感じました。日中は暑いので、午前中または夕方に回るとよいようです。

「Crown Café(電話 088-622126)」でスチーム ボートを食べました。スチーム ボートは、一人前 RM15 で、量も丁度よく、満足しました。「金河海鮮冷氣酒家 Sungai Wang Restoran (電話 088-612312)」の海鮮料理は圧巻でした。道に面したところにもオープン スペースの食堂がありますが、奥まった部屋に空調の効いた大きな食堂があり、通りからは見えません。地元の人達で賑わっていました。少し高い(RM45)けど Steamed Fish はお勧めです。大きな白身の魚を丸ごと煮つけたものです。

Kudat の郊外には見るべきところが数箇所あるようですが、交通手段を確保しなければなりません。ホテルでも案内してくれますが、割高なようです。ロングハウス往復の交通費が RM80 でした。

5/19, AM10:30 にホテルに迎えに来た乗り合いタクシーに乗り、KK の Promenade Hotel に向かいました。料金は、人が RM20/人、ゴルフ バッグが RM10 ということで RM50 支払いました。

KK を散策後、Promenade Hotel に預けていた荷物を受け取り、空港に向かい、KL を経由して 5/20 早朝成田に戻りました。

ボルネオには、行ってみたいところがたくさんあります。また、長期滞在してみたいところもいくつかあります。充実した1ヶ月間が瞬く間に過ぎ去り、次の訪問への期待が、膨らんでまいりました。